

# 2021 年度後半期東北地区産科婦人科学会・医会連絡会 議事録 (令和 3 年度)

日時：2022 年 2 月 20 日（日）11:00～12:00

開催形式：WEB(オンライン)宮城県医師会館より配信

または、各県の学会・医会が指定した会場でWEB会議参加

## I 東北連合産科婦人科役員会

### 1.開会のあいさつ

永井先生が宣言

### 2.議長選出

(永井先生) 今年も八重樫先生に議長を依頼します。異議なく、八重樫先生が議長に選出された。

### 3.報告事項

#### (1)新名誉会員該当者、新功労会員推薦

(永井先生) 今回は該当者がいませんでした。

#### (2)日産婦学会専門医制度中央委員会報告

(徳永先生)

(資料 2-1 共有しながら) 今年の専門医試験の日程です。

(資料 2-2 供覧しながら) 今年産婦人科研修プログラムに登録した専攻医は全国で 500 人を上回っており、過去最大です。

(青森県 横山先生) 青森県は異動があり 2 名→3 名です。

(福島県 藤森先生) 福島県は 1 名が登録間に合わず、2 名→3 名です。

#### (3)日産婦学会理事会報告

(八重樫先生) 第 74 回日産婦は 2022 年 8 月 5 日-7 日に福岡、第 75 回は 2023 年 5 月 11 日-14 日に東京。第 76 回は東京、第 77 回は岡山で行います。

専門医生徒中央委員会から

(徳永先生) 専門医制度規約施行細則の改定について。

今後は Total の料金は 55000 円が変わりませんが、一次審査料 45000 円は学会へ、機構へ 10000 円の登録料を払うこととなります。

2 連続更新を忘れると 5 年間失効となります。マイページで更新となるため、高齢の先生方への注意喚起をお願いします。

(山形 永瀬先生) マイページからしかお支払いできないということですか？

(徳永先生) 原則そのようになりますが、4月から間に合うかは不明です。クレジットのみのお支払いか、どうかもまだ決まっていません。

(岩手 馬場先生) 指導医のお金はどうなりますか？

(徳永先生) 指導医は学会の管轄なので、学会へ納めます。

(徳永先生) 指導医講習会の共通講習が産婦人科領域講習に変更となりました。医療安全等は除外となりました。

(徳永先生) 20 ページは整備指針についてです。マイページが導入され、共通講習が少し変わります。28 ページは共通講習開催の主体についての記載です。30 ページは更新認定についてです。54 ページはマイページについての図で、どのように審査の時に働くか示しています。

(青森県 横山先生) マイページの情報は地方部会が代理で入力管理するのは OK ですか？

(徳永先生) まだわかりません。マイページができたならまた説明があると思います。

(徳永先生) 57-58 ページで、他の科のマイページの対応について示しております。日産婦では、研修医管理システムに大きな変更点はありません。58-71 ページは専門医機構についてです。機構専門医は total 50 単位（共通等々）は変わりありませんが、62 ページで共通講習 B が義務化されます。2021 年度以降の専門医習得者が対象です。

(徳永先生) 67 ページは共通講習の申請についてです。各領域学会関係が申請する際は、関係する領域学会に申請することとなります。

(徳永先生) 専攻医数は増えていますが東京に集中しております。5 都府県に 55% います。出生数あたりの新規専攻医数、人口あたりの新規専攻医数、都府県面積別でも都心に集中しています。出生数あたりの総専門医数はと若手/60 歳以上の専門医比率は地域差がありません。

(徳永先生) 95 ページは地域医療の文言を改定しております。基幹施設になっていないことが条件と記載されました。一部の施設は登録漏れがありましたが、今後ある年にわすれたら、2 年後の専攻医募集を禁止することとなりました。

#### 外因がんの進行期について

(永瀬先生) 婦人科腫瘍学会ですすめており、3 月の理事会後に周知予定です。

#### 診療報酬改定について (永瀬先生)

新設は腹腔鏡下智頭断端挙上術、腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術、臍帯穿刺が追加となります。一般不妊治療・生殖補助医療にかかる評価の新設、男性不妊治療にかかる評価の新設について記載があります。地域医療連携分娩加算については、常勤医師と助産師各 3 名以上、事前に高次施設と連携がとれていることが条件です。胎児が重篤な疾患と診断された場合も加算対象となります。ハイリスク加算の見直しも記載しております。

(寺田先生) 生殖についても、保険適応の追加等の報告。

(渡部 洋先生) 専門医研修プログラムについて、地域枠の放棄が問題となっています。若手が全国調査を行います。

(4) 第 151 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会の準備報告  
(濱崎先生) 東北連合を 5/14-15 に行います。現地開催を予定しております。

(5) 第 69 回北日本産科婦人科学会総会並びに学術講演会  
(第 152 回東北連合産科婦人科学会) の準備報告  
(岩手 馬場先生) 北日本は一般演題を web で特別公演は現地開催予定です。

(6) 第 153 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会の準備報告  
(秋田 高橋先生) 2023 年東北連合は秋田駅前メトロポリタンで行う予定です。

(7) 第 70 北日本産科婦人科学会総会並びに学術講演会  
(第 154 東北連合産科婦人科学会) の準備報告  
(青森 横山先生) 2023 年北日本は現地開催予定です。

#### 4 協議事項

(1) 東北ブロック総会運営委員会委員ならび決算委員会委員の推薦について  
(八重樫先生) 東北ブロック総会運営委員会と決算委員会の推薦は、継続推薦をお願いします。(会場も異議なし)

(2) 来年度の東北地区産科婦人科学会・医会連絡会について  
(八重樫先生) 2022 年 5 月 15 日 現地での早朝に開催予定。2023 年 2 月 19 日 開催方法は後日案内します。

(3) 第 155 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会について  
(八重樫先生) 155 回東北連合について、馬場先生開催可能ですか。  
(馬場先生) 会長と相談して、早急に返事します。

(4) その他  
(八重樫先生) 第 157 回の東北連合が順番だと山形県担当となります。  
山形は 72 回北日本の担当で、半年以内に再度開催となるので、今回は検討しないが交換での開催が必要になるであろうとのことの説明があった。

閉会

(文責：田上和磨、永井智之、齋藤昌利)